

平成 27 年度第 5 回（新第 4 回）岡谷市行政改革審議会 会議録

●日 時 平成 28 年 1 月 20 日（水） 10：00～12：00

●場 所 庁舎 6 階 605 会議室

●配布資料 ・資料 パブリックコメント実施報告

1 開会

矢崎主幹 それでは、平成 27 年度第 5 回岡谷市行政改革審議会を開催いたします。

（岡谷市民憲章）

2 会長あいさつ

おはようございます。お忙しいところ、ご出席をいただきまして感謝申し上げます。

来年度に向けての行財政改革の審議をしていただきたいと思いますので、ご協力をお願いしたい。

審議については、今日が最終の予定をしておりますが、皆様活発な意見をよろしくお願いたします。

3 議 事

矢崎主幹 これより、本日の議事に入ります。会長さん進行をお願いいたします。

会 長 それでは、議事に入ります。今日は欠席者も多い状況であるが、過半数の出席はいただいていることから、審議に入っていきたいと思えます。

本日の議題は、(1)プラン（案）の審議であります。

前回の審議会の続きから審議をお願いします。まず 16 ページの「改革へ取り組むための重点項目と推進項目 公営企業、外郭団体等の経営健全化」、次に 12 ページに戻りまして「6 岡谷市行財政改革 3 か年集中プランの数値目標」を審議しまして、最後に、16 ページからの「8 改革の推進と進行管理」について、審議をまいります。

それでは、審議に入ります前に、前回の審議会において、委員さんからご発言のありました、「臨時職員の時間管理の指標設定」について事務局より説明をお願いします。

矢崎主幹 臨時職員の時間管理の指標につきましてお答えさせていただきます。

臨時職員の指標の設定につきましては、企画課の方でも検討させていただきましたが、結論から申し上げますと臨時職員の時間の指標の設定は非常に厳しいところがありまして、現在実施計画の 18 ページにもございます。「新たな定員適正化計画の推進」ということで、正規職員の削減を掲げさせていただいております。その部分におきましては計画的な職員の削減を目指して進めていくにあたりまして、どうしても相反するところはあるが、定例的な業務等を精査する中で正規職員から臨時職員への切り替えを行っていく部分がでてくる可能性があります。そういった中で臨時職員の指標を設定するには増加（増やす目標）をいう部分は厳しいのかなと考えています。従いま

して、ここに掲載するとすれば、実施計画 19 ページ ④嘱託職員・臨時職員の活用と適正配置になろうかと思っておりますが、そのところには指標の載せずに、適正管理という部分で、私ども組織を預かる部分において、きちんと管理をするなかで、事務事業の見直しによって減る部分、正規から臨時への切り替わりの部分を項目ごとに、きちんと管理をさせていただいて、この審議会に状況報告をさせていただく形をとりたいと考えておりますので、指標の設定については今回設けない形をお願いしたいと思います。

委員 A 設定しないということですが、市役所全体の仕事を色々書いてありますが、民間に出すとかありますけれど、従来ある仕事を減らしていかないといけないと思う。そのことの摩擦は色々あると思うが、本当に今までやっていたことをやめていくということが一番謳われている部分はどこなのでしょう。

矢崎主幹 仕事を減らしていく部分でありますけれども、13 ページ、重点改革項目 2 歳出削減への不断の取組、(1)事務事業の見直しの部分になろうかと思っております。この事務事業の見直しについては、14 ページの上段部分になりますけれども、事務事業の徹底した見直しを行い、真に必要な事業への重点化を図っていく部分が該当する部分になろうかと思っております。また、実施計画になりますけれども、11 ページ、先ほど申し上げた部分が③ 施策・事業の選択と集中といった部分。真に必要な施策を優先順位をつけまして、選択をしながらやっていくということで、当然継続するもの、廃止するもの、見極めをしながらやっていかなければいけないかなど、そういうような取組をしていきたいということで明記をさせていただいておりますので、お願いいたします。それと、本編の 14 ページ。そちらに重点改革項目 3、公共施設等の総合管理計画の推進といった部分がございます。こちらにつきましましては 212 施設、岡谷市内にございますけれども、今後の人口減少や財政状況等を見ますと、全ての施設を維持管理していくのは非常に厳しい状況になろうかと思っております。これから迎えます更新、建て替えが集中してくるという部分がありますので、そういった部分を見据えながら財政状況も勘案して、施設の統廃合等きちんと見極めをしまして、真に必要な部分は更新をしていく、建設当初の設置目的を達成した、または利用者が少ないという状況の施設につきましましては、統合または廃止といった思い切ったことをしていかなければいけないかなどということで、こちらのほうもだいたい厳しい計画を作りながら取り組んでいくというところでございます。

会長 平成 28 年度の重点施策として、施設についても業務内容についても、重点化してそれを推進、または廃止の事業を抽出していくというご説明ですが、この後違う審議もありますので、それも含めましてまた具体的なお話ができればと思っておりますのでよろしくをお願いします。

会長 それでは、「重点改革項目 5 公営企業、外郭団体等の経営健全化」につきまして審議をいたします。推進項目は、「(1)水道事業・下水道事業の健全経営の維持」、「(2)病院事業の経営基盤強化」、「(3)外郭団体等について」であります。実施計画は、実施計画の 23 ページから 26 ページまでとなります。

事務局から、補足説明はございますか。

矢崎主幹 私の方から、重点改革項目 5 公営企業、外郭団体等の経営健全化、実施計画で行き

ますと 23 ページになりますが簡単に説明させていただきます。

実施計画「水道施設の計画的な整備、更新等」から「農業委員会組織等の見直し、改革」について、それぞれの項目ごとに補足説明。（省略）

先日お配りしました Q & A をご覧いただきたいと思います。会長より先日、下水道料金の据え置きが決まった記事を見ましたが、独自事業ではありますが、歳入が厳しい状況の中で、単独決定についてと思いましたが、上下水道事業運営審議会での内容は。また、企画・財政も関与されたのかとの質問をいただいております。こちらについては、市の据え置き方針に対して、審議会の付帯意見として、使用料収入の減少傾向は今後も続くものと思慮され、将来は値上げせざるを得ないとの認識だが、大幅な値上げは避け、段階的な引き上げや近隣市町村とのバランスを考慮すること。企業努力による歳出削減や補助金等の確保に努め、健全財政を堅持すること。消費税率の改定時は、市民により丁寧な説明をすることを要望して賛同されました。

なお、審議会への諮問内容については、企画や財政部局も含めた庁内議論の中で決定されており、庁内連携を図っているものでありますので、よろしくお願ひしたい。

会 長 今説明がありました皆さんから質疑等がありますでしょうか。

会 長 ちょうど前回市長から諮問をいただいたときに市民新聞に内容が一面に出ました時に、その記事の横に下水道料金据え置きの記事がありまして、少しずつでもあげて、少しずつでも貯めればいいのではないかと思います。市のほうとしては企画も財政も介入して意思統一した上で、据え置きという内容で答申されたということ。下水道につきましては、次回の検討は 30 年度で、3 年間は据え置きということ。来年度は水道料金についての料金の見直しがされるということ。

委 員 B 農業委員会というのはよく知らないのですが、農業委員会 14 名いるということですが、実際にどういう業務をしているのか、さして重要性があるようにも思えない部署のように見えるのですが。聞くところによると月数万円の手当が出るとのこと。29 年度減らす方向になっているのですけれども、前倒ししてもよいのではないかと。どのくらいの必要性があるのか、この人数が本当に必要なのか、疑問に思います。

小口部長 農業委員会は市の部局ではなく、自治法で定められた別の部局。権限としては市長部局のほうからあまり言うことができない独立した機関ということでご理解いただきたいと思います。私どもで認識していることというと、農地の保全、遊休農地の橋渡し役などの事業をおやりになっているということ。農地転用の関係は、最終認可は県の権限となっておりますが、その前段の事務は農業委員会が担っています。

矢崎主幹 農業委員会の活動内容について資料に基づいて説明をさせていただきますと、部長からもありました農地法によります各処理、いろいろな会議をやっております。農業委員会の会議といたしますと月 1 回程度は総会的な部分で農地転用していいのかというところを諮っています。また、地区別に現地調査がございまして、農地転用に関わる地区の委員さんが実際にこの土地を転用していいのか、現地を見ると、それは必ず総会とセットになっている部分でございまして、別の日程で組まれています。その他

の部分では農産物に関する振興施策事業で、各部会がございましてその委員会があるということです。実際に件数的には、農地転用の件数は、26年度は80件ございます。それに対して農業委員さんのところで審議をさせていただいているということでございます。

委員B 市の予算で農業委員会に渡っている部分があるのですか。100%ではないですよね。県、国の補助が。

小口部長 特定財源はなかったと思うが、確認を。報酬もありますし、調査に係る費用も必要になりますので。

委員B 費用だけ市が負担しているということではないですよね。

小口部長 いえ。独立した機関はみんなそうです。例えば選挙管理委員会、監査委員事務局、公平委員会、みんなそうです。それぞれは独自の収入はないので、市費でまかなわれています。

矢崎主幹 農業委員会に関わる農業委員会費は、26年度決算状況は1,150万円ほど。その内訳は農業委員会委員報酬14名分で760万円ほど。あとは農地台帳システムの改修が必要だったということで、120万円ほど。臨時職員の賃金で90万円弱。

会長 独立組織ということで、組織、人事については市の方から指導的な立場として、指導ができる内容になっているのか、お聞きしたい。

小口部長 農業委員は選挙で選ばれます。地区の推薦もありますが、公選で選ばれます。後は議会選出と、農協からの委員さんが確かいたと思います。ここで法改正にあわせまして、改正をしていくという内容です。

会長 農業委員会の改革は多少痛みを伴った改革になるのかもしれないです。

委員C 2番目の各種団体の自立促進、役所が事務局を担当している団体はいくつくらいおありでしょうか。それと、その内容について、各種団体の主な長が構成されて団体長が会議を開いているような会だと思うのですが、教えてください。

矢崎主幹 数までは現在のところ把握できていません。市の職員が各イベント等の実行委員会を組んだり、最近では自立してきておりますが、スポーツ団体、それに付随する各種事務局を、会計を含めて持っていたということが従来からございます。それは職員の本来の業務とはまた違った部分もございます。団体の育成という部分ではある程度市の職員も携わっていかねばいけないと思いますが、そこらへんを自立している団体もございますので、公平性も考えながら各種団体が自立してできるような会を、組織を強化していく、そんな助言もしながら事務局のお手伝い、市の職員が携わっている事務局については団体の方へお願いしていきたいと各団体のご理解をいただきながらということになりますので、各課ではそのあたりを団体とすり合わせをしながら、将来的には各団体で事務局の事務を行っていただけるように、会計も含めて取組をさせていただく内容となっています。

委員C 件数はともかく、本当に私もこれに賛成です。自分もそういう団体に出て思ったのは、各職員がそういう会議に出て一生懸命、会議の運営や方法などいろいろな助言をしてくださったり、それに携わる資料を作成していただいているようですので、自立ということは本当に必要だと思います。職員の人員削減の点から置いてもそれに関わる人数が少なくなるとか、事務的な時間が少なくなるとか、一年毎に徐々に徐々に手

を引いていけるような形で段々に自立できればと、そんな内容は初めて見たので大いに賛成です。色々な団体の人たちが、市の予算が少なくなる、色々な理由で欠けてくる中で、ボランティアがだいぶ盛んになっている。ボランティアは経費の面でも大変ありがたく、ボランティアを育てるためのサポーター、観光課あたりではそういう育成のための勉強もしているようですし、市民がそういうことで役所の中の手を借りずに、参考の意見を聞きながら育っていくということが必要で、経費の点でも何らかの役に立つのではないかと思います。

会 長 連壮なんかしっかり手を引かれて大変なのですよ。

委 員 C それと、各団体の人員がすごく少なくなっているのですよね。例えば婦人会とか、結局退会していく、脱会していく会が多くなってそういう団体が多くなって、市民の高齢化、若い方たちがお勤めして、その会に入れないと大きな問題を抱えている団体があるのですけれど、いくらかの助言をいただいても自分たちで何とかやれる会にしたほうがいいのではないかと思います。

委 員 D 事務局を持っている団体があるというのを知らなかった。

会 長 連壮も昔は市が事務局をやっていた。

委 員 C ここで会議を開いているのはそうですね。

委 員 D 連合婦人会はもうないですよ。

委 員 C もう今は、婦人会はなくなって個人的なものになりまして、女団連に移行しています。高齢化で。

会 長 これからはそういう方向に進まざるを得ないし、我々も何かやるときにはそういう方向でやらないといけないとは思いますが。本当にどのくらいあるのですかね。

委 員 E まとめ役を市がやらざるを得ないような団体もあるのですよね。直売所を集めて会合があるんですよ。もうひとつ似たようなものがありまして、これをまとめるにはどうやるのかなと思ひまして。

小口部長 各種団体の事務局は昔から課題の部分で、今は昔のような意味で市が事務局もっていて、会費の徴収をやったり予算を立てたりというのはほとんどないと思います。消費者の会は今も事務局は市民生活課にあります。内容的にはかなりの部分が自立して皆さんでやっています。委員さんが言われた直売所の部分は、なかなか出荷してくれる人が少ないということの中で、それをぜひ農業政策として旗を振ってやりたいということで、集まる会を作ったのですけれど、どちらかという農協さんの関係で組織があるということですので、そことの関係もあると思います。事務局というのではなく、地産地消を推進したい、農地を保全したいという意味合いの中で事業としてそういうところへ出荷してくれる人を増やそうということでやっている部分もあります。少し昔で言うところの団体を市が抱えているというところは本当に少なくなっていると思います。

委 員 C 例えば国の方から、各都道府県、市町村へ推進する事業を頼まれる、広告程度で募集して主なところに集まって、会議を開催するというのもあるのでしょうか。協力体制ということで頼まれるということもあるのでしょうか。

小口部長 例えば今年、全国植樹祭というのを、長野をメイン会場にして行いますけれど、それに関連している部分で、諏訪地区は湊でそれに関連した事業をやるとか、そういう

ことを国から頼まれたり、国、県を通じてということになりますけれどもそういう事業もありますし、あとはそもそも機関委任事務として、国から委任を受けて市が行わなければならない事務もあります。マイナンバーなんかは国のほうの施策で進めて、結局実際は市町村が行う、当然国から補助金をもらったり、交付税措置がされたり財源という部分で手当てがありますが、かなりの数そういう事務もありますね。イベントは何年かに一度ありますし、あるいは統計調査も国の事務を受けて調査員さんをお願いしたりして実施する事務もありますし、いろいろなところで国、県からお願いされる事務も当然出てきますし、国の財源確保をお願いしながら取り組んでいます。

委員C 各団体を通じてお願いしないといけない場合もあると思いますので、それぞれで対応していただいてスムーズにできるように。例えばチラシでいろいろいただくものから、協力できる部分はと思っています。

小口部長 ありがとうございます。いろいろな部分で区の皆さんのお力添えをいただきながら、広報もそうですが、やっていますので引き続きお願いします。

会長 続きまして、12 ページの「岡谷市行財政改革3か年集中プランの数値目標」について、事務局から説明をお願いします。

矢崎主幹 説明させていただきました、重点改革項目の取組によりまして、数値目標を設定していくものであります。数値目標の設定につきましては、4つの項目に分けてございます。まず、職員の定数につきましては27年度末で427人といたったものを目標値としまして、平成30年度末には412人となっております。また、公共施設の延床面積については、304,240.21㎡を6%削減することで286,000㎡にしていきたいといった内容であります。基金の残高については現在21億の基金残高を財政推計では14億円まで減ってしまいます部分であります。ただ、この取組を行うことによって、17億台にしていきたいこと、地方債現在高については、254億円の残高がございます。そちらを249億円を240億円に縮小していきたいといった内容であります。

こちらについては、委員さんより公共施設の延床面積に関する数値目標で、岡谷小学校、塩嶺病院は全面除却ではないと思われませんが、その全景が見えません。残りの部分から、新たな財源を生む方法はないのでしょうかといった質問をいただいております。こちらについては、公共施設の延床面積に関する数値目標では、岡谷小学校はすべて除却することとなっており、また、塩嶺病院は看護専門学校の部分以外は、年次的にすべて除却することが計画されております。

公共施設の統合・廃止を進めるにあたりましては、その建物、敷地等の売却も含めた後利用についても売却も含め検討をし、財源確保に努めなくてはならないと考えております。

職員の定数については、現在427名を412名、15名の削減をしていきたいものではありますが、現在28年度の内容が固まってきております。そういった中で実施計画のほうにも細かな数字を掲載してありますが、28年度については、特別会計の部分で訪問看護事業の看護師5名について、病院事業と一緒にやっていくことになりまして、その5名が病院の方に移るものですから、一般会計の5名が削減が図れることとなってまいります。従いまして、15名の削減を調整させていただきまして、削減目標を20又は21名という調整をし、記載させていただきたいと思っております、30年度末には407

位と考えておりますのでよろしくお願いたします。

会 長 病院の方は人数が増えて予算が増えるということになるが大丈夫か。

小口部長 特別会計の中でやっていた訪問看護事業というのがありまして、病院の看護師さんが医師の許可を得て、各家庭を回って看護をするわけですけれども、職員は病院事業の職員であり、その事業を特別会計にせずに病院の会計の中で一緒に経理をしていくということですので、5名の看護師さんが特別会計の支弁ではなくて病院事業会計の中で支弁するというもので、5名が病院の方に移るということで、病院の方は特段問題ないと考えております。

会 長 数値目標について説明がありましたが、今までの施策と絡めてご質問はありますか。

委 員 F 実施計画をやった結果が数値目標になっていると理解しているが、実施計画にある取組内容の「実施」「推進」「検討」の定義を教えてください。

西山主査 「実施」につきましては、内容が決まっています、具体的に実施することにより行財政改革に取り組んでいるものであります。

「推進」については、一部実施や今後の内容等を精査しながら行財政改革を推進するものであります。

「検討」については、実施・推進に向けて具体的に取り組む内容や方法を検討するものであります。

委 員 F 例えば、実施計画 16 頁の⑥「ワンストップサービス」は 3 年間検討とあり、17 頁の「駅前出張所の見直し」は、27 年度は推進して、28 から 30 年度は検討するとなっているが、何をやるかがわかりづらい。

矢崎主幹 具体的に、駅前出張所の見直しについては、27 年度の推進は現行プラン長期実施計画に基づき行っているが、実際開設時間の見直しなどを行い一部実施しているので「推進」となっている。28 年度からは新たな実施計画で取り組むこととなるので、極端に言えば駅前出張所が必要なのかなど検討することとしているので、あり方について検討することとしている。

委 員 F 民間であれば、「推進」や「検討」と書けば怒られる。みんな数値をいれて去年はこうだったから、今年はこうします。といったことをしないと通らない。民間であれば「検討」ということはやらないことと同じである。

小口部長 一番課題になるのは、コストパフォーマンスの部分で、民間と違い行政は利益追求ではありませんので、経費に係るから止められるかというとなかなか止められない。合併の経過もあり、3 支所、出張所と開設しているが、コスト的に見ると赤字である。止めるとしても市民理解が必ずついてくる。現在、行政として、公共施設が大きな課題となっているが、人口減少で利用者が減り、使用料収入も減っていく中で、その施設を廃止することも考えなくてはならないが、例えば 1,000 人の方の利用があれば、その施設が廃止されるとなると、総論では賛成していても、各論になると反対となるので、施設の統廃合は難しい。

駅前出張においても、いきなり廃止ということを出せばいいのですが、なかなかそうもいかないのが、機能をどう保管するかとか、どこまで行政サービスを行うかなどを、検討しなくてはならないので、検討としたり一部しかできないので推進といった表現を使わせていただいている。どこかでは、結論を出し多少のサービス低下

になってもやらなくてはならない時期が来るとは思いますが、今の時点では検討項目としているので、ご理解をいただきたい。

委員 G 駅前出張所ですが、私のまわりには4人利用している方がいて、ありがたがっている。人数は少ないかもしれないが、恩恵を受けている市民の方がいます。苦しいところではあると思いますが。

小口部長 駅前出張では、休日に活用できるようになっており恩恵を受けている方もいますので、影響を見極めながら方針決定、判断していかなくてはならないので、当面は検討とさせていただきます。

委員 F 今、駅前の方に話がいつているが、例えば、いろいろな意見があるものについては、「検討」で良いと思う。今年度は〇〇委員会をつくって審議してもらおうとか、具体的なものが必要だと考える。他の例えば、はっきりしている実施計画12ページ「情報システムの近隣市町村との共同化の検討及び推進」などは、今組上に上がっているものは何件で、今年は1件やるけれども、来年度は2件位を目標にしたいと、こういうものは数字が入ると思う。本当に具体的なものは、駅前みたいなものは理解できるが、検討している数字を入れないと行政評価にならないと思う。この点は、答申でも入れていただきたいと思う。

小口部長 審議会の方にも、この実施計画に基づいて具体的な取り組みをお示しすることになり、その結果、何をやったかも報告させていただきます。その際、審議委員さんのご意見をいただくことを予定している。

会長 「推進」「検討」について、できる限り具体的な項目として、早急に詰めていただいて効果に結び付けられるように要望事項として答申に付したい。

委員 H 先日の新聞記事で予算額が出ていたが、不足分の4億円についてはどうするかと思っていた。説明を聞く中で、1億円は経費の削減をして、残りの3億円は基金から繰入れて対応することは理解したが、基金残高が21億円であり目標値として17億円となっているが、3年間集中的に取り組むとのことであるが大丈夫なのか。

小口部長 現在予算編成中ですので詳細は申し上げられないが、委員さんおっしゃるよう取り組みを行うこととしている。来年は、基金の取り崩しを圧縮していきたいと考えている。3年目には、取り崩しをなくしたいと考えている。

先程、職員の削減数が増えるといった説明をしたが、平成28年度の市税収入が厳しい状況にあり、事務事業は市民サービスに直結している部分があり、なかなか切っていくことができない状況から、人件費に求めることとなる。

この3年間で基金に頼ることのない財政構造に転換しなくては、ご指摘のように基金が底をついてしまう。市とすれば、財政調整基金を10億円持っているが、この基金は、災害があった場合に必要となる部分であるので、他の基金を増やしていけるようにしたい。

委員 H 基金の残高の推移を見ると、毎年4億、3億などと取り崩しているのが、急に基金に頼らない構造にできるのか心配であったのでお聞きしたが、是非、基金に頼らない施策をやっていただきたい。

会長 数値目標について議論してまいりましたが、数値目標の達成に向けてできるだけ早く実行に移せるよう項目に謳いあげていただくことを要望に盛り込むことでまとめと

したい。

続きまして、「8 改革の推進と進行管理」について最後に確認をしたいと思えます。事務局より、補足説明をお願いします。

矢崎主幹 16 頁から 17 頁をご覧いただきたいと思えます。改革の推進と進行管理であります、この実施計画に基づきまして、計画年度の最初に詳細な取組内容について計画させていただきます。その詳細計画については、この審議会に報告をさせていただき、ご意見等をいただくこととなります。

実績についても、取り組みが終ったところで審議会にご報告させていただく。

審議委員さんのご意見、助言をいただきながら進行管理をしていくこととなります。

会 長 只今の説明に対して、ご意見等ありましたらお出しいただきたい。

実施項目や実績報告を審議会へ出していただく時期はいつ頃になるのか。

矢崎主幹 実施計画と実績報告のタイミングは、7 月初旬を予定したいと考えております。

そこでいただきましたご意見等については、担当課に伝えまして取り組みに反映させていきたいと考えております。

会 長 今後は、7 月上旬に予定されるとのことですので、よろしく願いいたします。全体を通じて、何かございますか。

委 員 (特になし。)

会 長 それでは、行財政改革 3 年集中プラン (案) につきまして、審議会においては、このとおり実施をして強力で推進していただきたいとして、答申に結び付けていくこととします。

次に、この審議と並行してパブリックコメントを求めておりましたので、ここで報告をお願いいたします。

西山主査 それでは、審議会資料として「岡谷市行財政改革 3 年集中プラン (案) のパブリックコメント実施報告」がございますのでご覧ください。

公表の方法ですが、市の情報公開コーナー、三支所、駅前出張所へ意見ボックスの備え付けをし、ホームページへの掲載もいたしました。

意見募集期間ですが、12 月 17 日～1 月 15 日と約 1 ヶ月募集しました。

提出された意見の件数は、持参によるもの 2 件でありました。

(パブリックコメントについて事務局から説明)

会 長 内容的には、審議会と同じご意見だと思います。

それでは、全体を通じてのご意見や答申への要望等についてお聞きしたいので願います。

委 員 I 直接この審議に関係することではありませんが、国の施策で人口減少に対する対策、戦略に補助金が最高 8 千万円つくとのことですが、岡谷市ではそれに対応したかどうか、どうでしょうか。

小口部長 まち・ひと・しごと創生ということで、これまで 26 年度補正予算の中で商品券、工業で追加の交付金をもらってやった、ロケットの新聞記事ご覧になりませんでしたか。諏訪ブランドの発信ということで、信大のサテライトキャンパスが岡谷にあることか

ら、信大の工学部、諏訪東京理科大、諏訪圏ものづくり推進機構という NPO 団体が連携した事業をやっています。それから、信州シルクロード連携協議会があって、その中でPR用のホームページ、パンフレットの作成等、誘客のための取組をやっています。戦略を作る経費にも国の交付金が当たっていますので、そういうような事業をやっています。いよいよ新年度、2年目になりますが、本格的に動き出しますので、国で地方創生の交付金、はっきりした部分がまだ見えていない部分がありますので、当初予算にどうやって盛り込めるかわかりませんが、少しでも多く獲得、確保できればいいなと思っています。工業振興だとか、観光の部分、結婚・妊娠・出産・子育て支援のところこういうものを当てられないかなということで、取組を進めています。冊子ができていますので、パンフレットができましたら、委員さんにもお配りさせていただきたいと思います。今度の広報で概要が出ますので、またご覧いただければと思います。よろしくをお願いします。

委員 初めて審議会に入れていただいて、内容を見ながら、皆さんの話についていくのがいっぱいいっぱい状況ですけども、難しいと思いますが、是非ここに掲げられたようなプランに沿って進めていただけたらと思います。

委員 具体的にパブリックコメントにも書いてある通り、早急に進めていただきたいと思います。

委員 今回初めて参加させていただいて、驚いたのは市の職員の方の中で臨時の方の人数がとても多いということです。市役所に来て主婦の友達で知っている顔がちらほら見られるようになって、市の正規の職員の方の仕事の一貫が増えているのかなと思います。いろんな課を回って、いろんな知識をお持ちだと思いますので、市の正規の職員の数を負担がかからないような方向で、うまく人件費の削減に、市の職員の方の知的な財産を大切に活用していただきたいなと思います。11年間、主人の父の介護をしております、最後認知症があったので、福祉のタクシーが大変ありがたい制度でした。実際、高齢の方の中で、利用しているパーセンテージが低いとは思いますが、先ほどの岡谷のララの出張所のように削ってはいけないものと削れるものとその辺をしっかりと見極めていただいて、息子たちが将来魅力ある岡谷市でいきいきと暮らせるような方向、基礎をこの3年間で作って欲しいと思いました。

委員 聞いているのでいっぱいでしたけれども、このとおり集中プランというプラン通りにスムーズにいったら良いなと思います。福祉タクシーの話がでたのですけれども、うちの番号が2914なのですが、ふくシーが2941なので時々間違えて電話をくださる方がいて、「お願い」といって切ってしまう人がいるとふくシーへ電話して、こういうところで待っているからという連絡をするんですが、1日1件くらいかかってきます。私のうちの電話番号変えろと言われてましたが、そんなわけにはいけないので。病院事業のことで、私は岡谷病院ではなく、個人病院にかかっているのですが、少し具合が悪くなると日赤を紹介されるのですよね。岡谷市内にある個人病院だったらどうして岡谷病院を紹介しないのかなと疑問に思ったことがあるのですけれども、これから個人病院の先生が岡谷病院を紹介してくれるような魅力ある岡谷病院になってくれれば良いなと思っています。一日も早く実施ができれば良いなと思います。大変ですけど、よろしくをお願いします。

委員 数値目標のところでは思ったことが、もっと具体的なものを一日も早く示していただくことが必要だと思いました。基金の残高がこのままだと30年度末は14億円になりそうだけれども、それを17億円にしたいとか、債務もプラス3とマイナス9で、3年間で12億円圧縮しなければいけないという単純計算になりますから、1年で4億円ずつ削減しなければいけないと言っているときに、先ほどの委員さんの調べてくださったことによると、要求予算が4億円多くなっているということなので、これは早く具体的な数字を示す段階に入らないと絵に書いたもちになってしまうのではないかと、心配になりました。外郭団体の自立を促して予算を削っていくということも、もちろん賛成ですし、必要ですけれども、時代に即して逆に作らなくては行けない団体、これまで市が支えなかったけれども、もっと市が支えなくては行けないという部分も出てくるという気がして、例えば、ボランティアをまとめているところが社会福祉協議会の中にあると思うのですが、その支えている人たちの高齢化が著しくて、社会教育委員のときに聞き取り調査をさせていただいたのですが、これからどうやって生きていけばいいか、わからないということをご当人たちがおっしゃっているわけですね。社会福祉協議会が全面的にバックアップしてくれているのですが、そういう部分がより強くバックアップしなければいけない部分もあるのかなと思ひ、行政改革の部分はすごく弾力性のあるもの、捨てるものは捨てる、増やすものは増やすという弾力性のあるものになっていくといいのかなと感じました。

委員 時代のこういう変革がいに私たち市民の生活に、市町村のいろいろの対応に大変かということをつくづく感じました。委員さんがおっしゃったように少子高齢化というところがいに財政面にも響くかということなので、しっかりと職員の方々がそれに即応した行政改革3ヵ年プラン、隅々まで考えてくださっていると思うのですが、そういう考えがもう少し市民に浸透して、市民も一体化、一体化まではできなくてもいに協力体制ができて、そういうものが推進できるかということが大事だと思いますので、一方通行にならないように、市民の広い協力を得られるようなかたちで浸透ができたらいいなと思ひます。市民憲章に謳われた、こういう時代になると、一番おろそかにされるのは「教養を深め文化の香り高い」という部分がなおざりにされることがありますので、それは一生懸命市の方で、先ほど委員さんがおっしゃったボランティアというものがすごく活動されて、ある程度潤いの持った、外から来る観光客とか、市民の皆さんの教養面にも役立っている部分が見られて好ましく思ひますので、ボランティアで経費を少しでも少なくできて、なおかつボランティアの方々が誇れるような推奨という言葉で、金銭という問題ではなく何か言葉で推進できて、一般的にもっといろいろの事業がうまくできるような形でいかれるほうがよいのかなと思ひております。

委員 私も初めてこういう仕事を仰せつかってびっくりしております。一区長としまして、年間の数百万足らずでやっておりますけれども、こんなに大きい、100億、200億という数字を見ますと、市長さん、部長さんたちはすごいなと改めて感じているところです。もう一つ疑問に思ひことは、岡谷市と諏訪市との人口はわずか4、500人しか違っていないのですよね。岡谷市のほうがちょっとばかり多いのですよ。それなのに市議

会議員の方が、岡谷市のほうは 18 名、諏訪市は 15 名ということで、数字を見る限りでは同じ人口なのになんで 3 人も違うのかなと思っていました。それで計算してみると、もうちょっと減らしても良いのではないかという考えが浮かんできました。これは地区によってはいろんな事情があると思います。決して同じではないと思いますが、一応そんなことを疑問に思いました。

副会長 私たちのために市の職員の方たちが大変なご苦勞をされて、安全・安心の生活ができるようにしていただける、大変なご苦勞をおかけすることだなど改めて確認してもらいました。そして、協力できることはさせてもらいたいと強く思いました。私の周りにいる足の不自由な方が特別な車を運転して、岡谷病院へお世話になっておりますが、その方が特別に駐車できる場所が見当たらないということで慌てていきましたら 5 個あったので、その旨をお伝えしました。透析をするほうに 5 つ。もっと入り口のほうにつけてもらえることはないかと市のほうへ言ったときにお聞きしてと言われました。駐車場の整備がまだできていないのでいろいろ考えていただいていると思うとお伝えしました。ここで言うて良いのか悩んだのですが、そういう意見を持っている声もあるということをお伝えさせていただきました。よろしく願います。

会長 ありがとうございます。私はふくシーはさっさとやめなければいけないという持論をもってまして、代替案は市へこういう施策に変えればいいよというところまで出していますので、人間的には否定したわけではありません。ふくシーはあるところへは重く、対象の中でも 80%以上の人には関係ないという施策になっている。タクシー運転手に対してもよくないといういろいろの面から考えて、ふくシー自体の形を変えた、もう少し経費のかからない施策を今も模索しております。ふくシーの運転はしておりませんでしたけれども、タクシーの運転は自分がやっていたことをまとめてそういう話をしていきますので、誤解のないようにしてください。

それから、最後の委託事業について、可燃ごみの回収はハッピーマンデーの回収をやめましょうという提案をしたつもりです。ハッピーマンデーをやりますと、ある地域にしか恩恵を被らないということと、それから年末年始 2 回収が抜けて 3 回分を一回に出すという地域がいっぱいあったんです。皆さんそういう時な上手に分別をしてやっけていただいています。ところがハッピーマンデーのときは何でも出しておこうというものが出来、通常のとときの 6 割くらいしか出てこない、そんなような実態があります。自分で経験をして、ごみ収集のパッカー車に週 2 日乗っていて、自分で感じたことを述べていますので、どこに言ってもこの意見は負けません。やめましょう。通常の休みの日も回収をしましょうと、市民からの要望があるようです。何でもかんでもやっていると、これは委託料が上がる話。ところが市はあげないように一生懸命努力しているので、委託業者がかぶるということになります。これもまずいです。全体を見て、分別をちゃんとすれば、ごみ回収は市がやらなくてもちゃんと回るのはないかという感覚を持っています。

会長 他に、ご意見はありますか。

特にないようですので、事務局から答申についての説明をお願いします。

(矢崎主幹より答申について説明)

会 長 それでは、27日に内容確認をしまして、市長への答申をいたしますのでよろしくお願いたします。その他、何かございますか。

小口部長 先程の外郭団体の数ですが、古い資料ですが40数件ほどあります。ただし、この中には地元の皆さんが主体となって活動しているのも含まれておりますので、昔のように事務局を抱えてやっていることは少ないと思っておりますので、今後精査をしてきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

4 閉 会

会 長 本日の議題についてはすべて終了しましたので、副会長さんから閉会のあいさつをお願いたします。

副 会 長 以上をもちまして、第5回行政改革審議会を終らせていただきます。委員の皆様、お疲れ様でした。